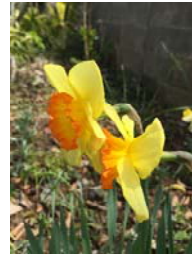


いま花時

どの花みてもきれいだな

花盛り



4月に入り、急にチューリップが咲きだしました。生協で球根を手に入れたものだ、花は赤、白、黄色のターバンを巻いたように端正でかっこいい。(チューリップはトルコ語でターバンの意とうかがっていた)。いま我が猫額の庭で西洋サクラソウと華やかに競演している。水仙も共演にくわわった。これは房総産2世。また日本サクラソウの芽が出始めているから、そのうちに咲くことだろう。町おこしサクラソウの会の会長故仲田さんと、近くのokさんから頂いた種からそだったものだ。それに拳(こぶし)は今年満開です。他にモクレン、クリスマスローズ、ボケ、花にら、水仙にいたスノーフレック、つばみ9個の牡丹…まさにこの世は花盛りです。おりから鶯の美声にまじってキジの濁声、新しい命の誕生を祝うような華やいだ色具合の花たちです。人であれば青春の景観。

でも人生のたそがれ時を迎えている小生にとって、何か寂寥感がある花時になる。

3日午後ちかくの運動公園に車で連れて行ってもらった。ご覧あれ、オオカンザクラの写真など。写真にはお年寄りの目を細めた晴れやかな顔・お父さんと遊ぶ子供たちのはしゃぐ声、が背景にある。そういえばチューリップの花言葉は「思いやり」。サクラソウは「希望」。子供と老人にふさわしい。

家に帰り、わたしは50年前のハーモニカを取出し、花を歌う童謡や歌曲を何年振りかで吹いてみた。結構ふける。♪♪・孫の入学・進級祝いにふいてみようか。初めて聞くじじーのハーモニカ歓迎されるだろう。

